

各位

会社名 G M O リ サ ー チ 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 細川 慎一
 (コード: 3695 東証グロース)
 問合せ先 取締役グローバル経営管理本部長 森 勇憲
 (TEL: 03-5962-0037)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年2月6日付で発表しております2023年12月期通期業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

● 通期業績予想の修正について

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日~2023年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	540	525	375	229.69
今回修正予想 (B)	5,240	440	445	325	199.07
増減額 (B) - (A)	▲760	▲100	▲80	▲50	—
増減率 (%)	▲12.7%	▲18.5%	▲15.2%	▲13.3%	—
(参考)前期連結実績 (2022年12月期)	5,200	419	458	356	218.39

2. 修正の理由

売上高につきましては、国内市場・海外市場ともに、当社の主要顧客である調査（マーケティング・リサーチ）を専門とする調査会社からの大型案件の受注が減少したことにより、期初予想に対して売上高が10%以上下回って着地する見通しとなりました。当社の主要顧客である調査会社からの大型案件の受注が減少した理由は、マーケティング・リサーチ市場における全般的な市況の悪化により、調査会社が最終顧客である事業会社から受託する案件が減少したことと、それにとまなう競争環境の激化のためと考えております。また国内市場においては、当社の主要顧客である調査会社からの大型案件の受注の減少に対し、原価率の高い（粗利率の低い）案件の受託を抑制しつつ、より高い粗利率を望める事業会社からの直接的な案件受託を強化したため、その動きが売上高の伸びの抑制傾向を強めました。また海外市場においては、粗利率の改善を

目的として、調査を専門とする大手顧客からの案件受託において、原価率の高い（粗利率の低い）案件の受託を抑制したため、その動きが売上高の伸びの抑制傾向を強めました。

全般的な市況悪化、競争環境の激化を踏まえ、当社のマーケティング・リサーチ・プラットフォームのさらなる強化を進め、収益性の改善を図りましたが、期初予想に対する売上高の伸びの抑制の影響を補うことができず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初予想を下回る見込みとなりました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後発生するさまざまな要因により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上